

イボの治療について

皮膚科

イボの自宅治療

毎晩やりましょう

- 1 お風呂あがりに、削れるところまでイボを削ります
- 2 イボの中心部のみに、少量のオキサロール軟膏を貼ります
- 3 スピール膏を、イボと同じ大きさ（～やや小さめ）に切って塗ります
- 4 スピール膏の上から、もう一度、オキサロール軟膏を塗ります
- 5 1枚目の絆創膏を貼ります
- 6 2枚目の絆創膏は交差させて重ねて貼ります
- 7 さらに紙テープなどで、ずれないようにしっかりと補強します

オキサロール軟膏が絆創膏から染み出してきたり、スピール膏が移動したりしないように、固定する方法を工夫してみましょう。

お薬の作用で、イボも周りの皮膚もふやけて境界がわからなくなりがちです。そのためにも、毎回きちんと削って境界をはっきりさせてから、治療を繰り返していきましょう。

手足のイボは根が深いので、根気が必要です

イボ取り地蔵があるように、昔ながらの祈念による治療も大切です。絶対に治すぞ！という強い意志により、身体の免疫作用を活性化し身体本来の防御機能を高める事によって、イボを撃退出来ると言われていています。毎日イボとにらめっこしながら、がんばりましょう。

2009.12

むとう みか

● 武藤 美香

日本皮膚科学会認定皮膚科専門医



皮膚科・小児科
多摩ガーデンクリニック
東京都多摩市落合1-35 ライオンズ多摩センター3F

予約・お問い合わせ
042-357-3671

※皮膚科と小児科では診療時間及び受付時間が異なります。詳しくは受付・電話にてご確認ください。